

各位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区丸の内一丁目6番5号
三菱地所物流リート投資法人
代表者名 執行役員 高梨 憲
(コード番号 3481)

資産運用会社名
三菱地所投資顧問株式会社
代表者名 社長執行役員 増田 哲弥
問合せ先 執行役員物流リート部長 高梨 憲
TEL:03-3218-0030

資産運用会社における社内規程（資産運用ガイドライン）の一部変更に関するお知らせ

三菱地所物流リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する資産運用会社である三菱地所投資顧問株式会社は、本日、社内規程である資産運用ガイドラインの一部変更を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資産運用ガイドラインの主な変更内容及び変更理由

本投資法人は、2022年3月1日付にて実施したロジポート川崎ベイ（準共有持分45%）及びロジクロス厚木Ⅱの取得（取得価格合計45,838百万円）（以下「本取得」といいます。）によって、資産規模は2,162億円に到達しました。上場当初から資産規模目標は中期的には2,000億円、長期的には3,000億円としておりましたが、本取得によって資産規模2,000億円を達成したことにより、資産運用ガイドラインにおいて定める中期的な目標を資産規模3,000億円に変更いたします。

また、本投資法人は、投資主価値の最大化を図るため、環境への配慮・社会貢献・ガバナンス（以下「ESG」といいます。）の強化といった社会の持続可能性向上への取組みを行っていますが、今後のESGへの取組みをより明確にするため、資産運用ガイドラインにおいて定めるポートフォリオ構築方針にサステナビリティへの配慮を追加するとともに、運営管理方針にサステナビリティに基づく運用方針の追加を行います。

今後、本投資法人は、物件の「立地」、「建物特性」及び「安定性」に着眼し、物流利便性に加え、雇用確保のしやすさや使い勝手の良さ等のテナントニーズを捉え、気候変動問題をはじめとする環境課題への対応といったサステナビリティにも配慮した長期にわたり高い競争力が期待できる物流施設への投資を通じて、資産規模目標3,000億円の達成及び更なる資産規模の拡大を目指します。

また、追加したサステナビリティに基づく運用方針は以下の通りです。

<サステナビリティに基づく運用方針>

サステナビリティに基づく運用に際しては、本投資法人が定めるマテリアリティに基づき以下のように対応するものとする。

I 気候変動への対応/ポートフォリオのレジリエンス向上

運用不動産におけるエネルギー利用の効率化を推進するとともに、省エネルギー製品の利用・切替、再生可能エネルギーの活用等により、温室効果ガスの排出削減に取り組む。

II 省資源化の推進

運用不動産における水使用の効率化を図るとともに、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に積極的に取り組み、限りある資源の有効活用に努める。

III 健康・安全・快適性の向上/テナント満足度向上

三菱地所物流リート投資法人

運用不動産の防災・災害対策を実施し、テナントの安全・安心を高める取組みを進めるものとする。また、テナントのニーズに基づくオペレーション方法の改善、設備導入等を進め、テナント満足度の向上を図る。

IV 地域への貢献・地域貢献プログラムの実施

テナント、プロパティ・マネジャーをはじめとするサプライチェーンや、地域コミュニティ、行政機関等の外部のステークホルダーと良好な関係を構築するよう努める。

2. 資産運用ガイドラインの変更日

2022年4月15日

3. その他

資産運用ガイドラインの一部変更による本投資法人の業績への影響はありません。

以 上

*本投資法人のホームページ：<https://mel-reit.co.jp/>